

2016年11月18日

&lt;報道用資料&gt;

2016年度日本科学技術連盟主催、日本品質奨励賞の授賞式が行われる

## **TQM 奨励賞を太陽工業の枚方工場が受賞**

～TQC から TQM を経て、環境改善への持続的な取り組みが評価される～

太陽工業株式会社

大型膜面構造物メーカーの太陽工業株式会社(東京本社:東京都世田谷区、大阪本社:大阪市淀川区、代表取締役会長兼社長:能村光太郎)は、このほど日本科学技術連盟主催の2016年度「日本品質奨励賞」において、「TQM 奨励賞」を当社生産本部枚方工場(工場長:井上良一)が受賞、去る11月9日(水)には、東京大手町・経団連ホールで、授賞式が盛大に執り行われました。

「日本品質奨励賞」とは、品質管理を中心とした経営管理技術の研究開発と普及発展を目指す日本科学技術連盟が、厳しい国際競争に勝ち抜く優れた企業を輩出するために創設したものです。中でも「TQM奨励賞」は、品質の改善が着実に進展し、その継続と活動範囲の拡大が図られれば、企業の業績が向上すると思われる組織を積極的に表彰し、より一層の発展を促すために設けられました。

今回、「TQM奨励賞」を受賞した生産本部の枚方工場は、博覧会などの大規模イベントでもお馴染みの各種膜構造建築物をはじめ、膜素材の利点を活かした物流分野、流通施設、土木分野、環境分野の事業を手がける当社のマザー工場です。1967年に操業を開始した枚方工場は、QCサークルなどを活発に展開、90年代後半からTQM(総合的品質管理)に移行してからも、「MCR(Makmax Cost Reductionによる業務改善)」の方針に基づき、会社の経営方針を着実に遂行できる組織力、現場力、改善力を培ってきました。今回の受賞は、こうした長年にわたる地道な活動を通じた、品質や仕事の質向上へのさまざま取り組みが評価されたものです。

2016年度「日本品質奨励賞」授賞式は、経団連ホールにおいて午後4時10分から、関係者多数出席のもと、日本科学技術連盟の佐々木理事長の冒頭あいさつに始まり、TQM 奨励賞の選考理由と賞状・賞杯の授与が行われ、太陽工業株式会社からは、中原武典専務が「今回は枚方工場の受賞でしたが、引き続き国内の他工場(瑞穂工場・福井工場)にも展開しTQM、ISO活動を通じて、次のステージを目指したいと考えております」と受賞の挨拶を述べました。

太陽工業株式会社は、この度の「日本品質奨励賞 TQM奨励賞」受賞を励みにして、引き続き品質を中核とする経営の革新を実践すると共に、TQM 活動を通して品質や仕事の質を向上させる事で、お客様に感動と快適な環境をお届けする「環境改善貢献企業」を目指す所存です。

日本品質奨励賞の授賞式の概要は次の通りです。

—記—

### 「日本品質奨励賞」授賞式

日時: 2016年11月9日(水)午後4時10分～5時15分

会場: 東京大手町・経団連会館2階 経団連ホール

内容: ①挨拶; 日本科学技術連盟 理事長 佐々木眞一

②TQM 奨励賞選考理由; 日本品質奨励賞審査委員会委員 中條武志

③TQM 奨励賞受賞者(3社)

・太陽工業株式会社 生産本部 枚方工場(大阪府)

・株式会社光栄(石川県)

・澤藤電機株式会社(群馬県)

④品質革新賞受賞者(2社)

・株式会社エイ・ダブリュ・ソフトウェア(札幌市)

・積水化学工業株式会社

\* 授賞式後、午後6時30分から、同会館4Fにて合同祝賀会。

#### 【太陽工業(株)枚方工場の選考理由】

枚方工場は、生産本部に属した3工場の一つで、従業員63名の工場である。製造する製品は、ドームなどの大型恒久膜構造物、大型パビリオンテントなどである。2010年の経営課題に対し策定された生産本部ミッションとビジョンを受けて、全員参加の方針管理活動を展開している。2012年にTQM活動を強化することで、工場目標を達成し、全社の利益に貢献している。具体的にはTQM活動による業績貢献の指標は、「工場原価差額」であり、2015年は2012年対比で30%増加している。TQM活動の特徴は、1) 組織横断型方針管理活動 2) 人・モノ・設備・方法を一体化した技術開発である。

※日本科学技術連盟の資料より



受賞企業による記念写真

※前列右から4番目が中原武典専務  
後列右から3番目が井上良一枚方工場長



賞状を授与される中原武典専務



日本品質奨励賞 TQM奨励賞の賞状と盾



太陽工業の枚方工場

<この件に関するお問い合わせ先>

太陽工業株式会社

URL:<http://www.taiyokogyo.co.jp>

広報担当: 上田、小崎 電話: 06-6306-3033